

次世代女性農業者の育成・支援

ねらい

農林水産省の2020年農林業センサスによると、女性農業者は農業者全体の39.3%を占めており、農業や地域の活性化には欠かせない担い手です。しかし、女性農業者は、家事・育児を同時にこなすことが当然視されてきた経緯があり、経営参画や地域農業の方針決定への参画の機会、スキルアップの活動時間の確保が得られにくい現状があります。

そこで、管内の次世代女性農業者のネットワーク化を進め、女性農業者が地域農業の担い手として活躍するとともに、自らの農業経営に積極的に参画できることを目指しました。

活動地域・対象

東部圏域を中心とする県内14市町村の次世代女性農業者

普及活動の目標

次世代女性農業者ネットワーク「阿波アグリガールズラボ」のネットワークを拡大するとともに、個々のニーズに応じた支援活動により、次世代女性農業者を農業の重要な担い手として育成していきます。

目標に向けた活動概要

① 支援体制の拡充

「阿波アグリガールズラボ」は、支援対象を広げるため、令和3年からの運営を徳島農業支援センターと鳴門藍住農業支援センターの連携のもと担うこととしました。このことにより、ネットワークのさらなる拡大と活動の活性化が図られました。

② SNSの活用

グループLINEを活用し、ネットワーク内での情報共有を積極的に行っています。また、Facebookにて、活動を広く発信することで、メンバーのやる気向上につなげています。

③ 農業女子会の開催

年度当初に農業女子会を開催し、個々の課題とネットワークに期待することを話し合っています。話し合った内容をもとに、年間の活動計画を作成し、各種の勉強会や研修会を開催しています。

(勉強会・研修会の内容の一部)

- ・食品衛生法の勉強会
- ・食品加工や衛生管理、OEMの勉強会
- ・WEB販売の勉強会
- ・農薬、土壌の勉強会
- ・トラクターやスマート農業機械の実演講習
- ・農業経営に関する講座
- ・メンバーの取組事例発表会
- ・徳島の未来を耕す農フォーラム



写真1 農業女子会の様子 (R3)

④ハイブリット講習会の開催

令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大により、集合研修や対面での交流会の開催が難しい状況となりました。そこで、オンラインで勉強会や交流会ができるよう、まず女子会でZOOMの使い方について勉強会を行いました。そして、オンライン参加と会場参加を選択できるハイブリット講習会を開催し、学びの場作りを進めています。



⑤おうち訪問

メンバー間の交流と情報交換を目的に、相互に圃場や作業場を訪問する「おうち訪問」を開催しています。令和2年度は小松菜生産や食品加工についてオンラインで訪問し、令和4年度はブルーベリーやイチゴの圃場・加工所見学を行いました。

写真2 ZOOMを活用した農業女子会(R2)



⑥個別支援

メンバー個々の課題解決を支援するため、経営目標シートの作成を勧め、その目標実現に向けた個別支援を実施しています。農業用グッズの開発、ECサイトでの販売、加工食品の試作、家族経営協定の締結などを支援しました。

写真3・4 おうち訪問の様子(R4)

普及活動の成果

平成29年に5人で発足した「阿波アグリガールズラボ」は、結成から6年目を迎え、現在44名が参加するネットワークに広がっています。メンバーの生產品目や経営形態は多種多様で、ネットワークを拡大して交流することは、メンバー間のよい刺激となっています。また、農業者だけでなく、女性事業者（種苗会社、仲卸業、菓子製造業等）とつながり、課題解決に向けて必要な情報を共有することで、学びの幅を広げることができました。

今後の発展方向

今後もネットワークを拡大し、メンバーがやりたいことを把握しながら、経営力強化や課題解決につなげられるよう支援をしていきたいと考えております。そのためには、個々の課題解決に必要な活動を、メンバーが自分で選択でき、無理なく参加できる体制を作り、引き続き、地域・品目を越えた交流の場作りを行っていきます。

関係者からの声

次世代女性農業者からは、「自分の学びたいこと、やりたいことを共有し合い、それを講習会や女子会で実現できることがありがたい。」「新型コロナウイルスの影響で人とのつながりが希薄になる中、ガールズの活動は親睦を深められる貴重な場所だ。」等の前向きな声をいただいています。

徳島農業支援センター

連絡先：徳島県徳島市新蔵町1丁目67番地 tel：088-626-8771